

今年1月1日付でキッツエスジーエス代表取締役社長に就任した高橋淳之氏は、同社の親会社であるキッツで営業部門を中心に豊富な経験を重ねてきた。キッツエスジーエスは、キッツ・グループとして市場別に新たに構築したビジネスユニットのうち、環境ソリューション部門の中核企業に位置づけられている。本紙では、高橋新社長にこれまでの経歴を併せて、同社の今後の事業展開の方向性についてお聞きした。

就任インタビュー

■就任しての心境、思い

まず、社長に就任されての心境について伺うと、「こんな大役を仰せつかるイメージは全く持っていない。不安もありました」と



「石油関係やビルの建築、各種プラントなど、とにかく、ユーザーが多岐にわたっていることがこの会社の大きな特徴で、例えば、あのアクアラインのバルブの営業も担当したことがあります。これは、躯体を海底に沈めるための排水用バルブなのですが、仕事を通じて我々の製品が社会の様々な局面でお役に立っていることを実感しました。ちなみに、水道関係で思い出深い仕事の1つが、沖縄県企業局の北谷浄水場内に整備され

「石油関係やビルの建築、各種プラントなど、とにかく、ユーザーが多岐にわたっていることがこの会社の大きな特徴で、例えば、あのアクアラインのバルブの営業も担当したことがあります。これは、躯体を海底に沈めるための排水用バルブなのですが、仕事を通じて我々の製品が社会の様々な局面でお役に立っていることを実感しました。ちなみに、水道関係で思い出深い仕事の1つが、沖縄県企業局の北谷浄水場内に整備され

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

「人」への感謝が原動力

2つの強みで水道界に貢献

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

■キッツの営業部門で多様な層と人脈形成

キッツの前身である北澤バルブに入社すると、東京営業所に配属され、同社の多様な顧客との交流の第一歩を踏み出した。

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

キッツエスジーエス 代表取締役社長 高橋 淳之氏

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。

「人」に恵まれた感謝の気持ち。それが自身の財産と言う。様々な業種、世界の方々の出会いには本当に楽しく、それもユーザーだけでなく、ユーザーが信頼を得ている商社さんとおもある「風通しの良さ」を前面に出したいという。